

ダム 椿山

日高川水系



和歌山県

我が国の最多雨地帯に位置する多目的ダム「椿山」。 災害を防ぎ、用水を補給し、水力発電も。

椿山ダムのあらし

椿山ダムは、県下最大の二級河川であり、安珍清姫の伝説や有吉佐子の小説で有名な日高川の中流部、和歌山県日高郡美山村大字初湯川に建設された多目的ダムで、洪水調節、不特定用水の補給及び発電を目的としています。

このダムは有田川の二川ダム、広川の広川ダムと同様、昭和28年7月の大水害を契機に計画されたダムで、日高川の治水の要として大いに期待されています。

ダムに関する調査は昭和39年に始め、20数年の年月を経て平成元年3月に建設事業の完成をみました。幸いにも事業全体で1人の犠牲者もなく、ダム本体では178万時間無事故無災害の記録を達成しています。

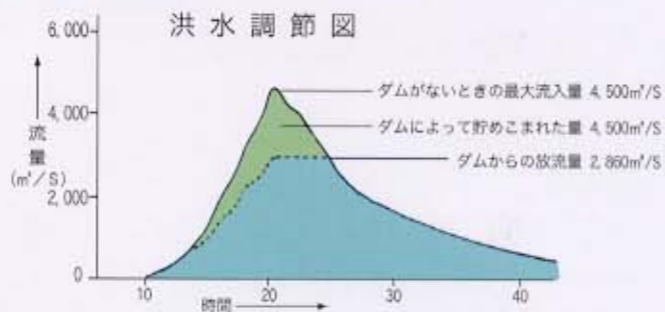
188戸に及ぶ水没移転者や地権者の深い理解と協力により得られたダム湖には、真っ青な空と紅い橋梁が静かに姿を映し、そこに眠る美しきふるさとをやさしく包んでいます。

ダムの諸元

型	式	重力式コンクリートダム
集水面積		396.5 km ²
湛水面積		2.68 km ²
堤高		56.5 m
堤頂長		236.0 m
堤体積		約265,000 m ³
ゲート	非常用洪水吐	クレストラジアルゲート 11.5×7.4 6門
	常用洪水吐	コンジットラジアルゲート 5.0×5.6 5門
総貯水容量		49,000千m ³

ダムによる洪水調節の働き

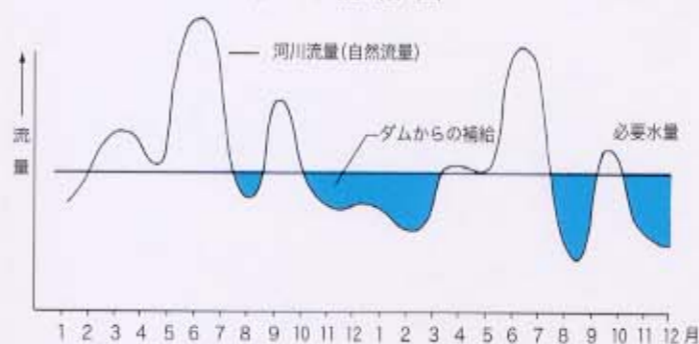
梅雨時や台風の季節には、集中豪雨によって河川が急激に増水し、沿川に大きな被害が発生することがあります。このためダムにより、洪水の一部を貯水池に貯留することによって、下流に一度に水が流れない様に調節し、被害を出来るだけ少なくします。



渇水時に用水不足分を補給

川はひとたび渇水になると、自然流量だけではどうしても水が不足してしまいます。このような時、ダムのある河川では、そこに貯留されている水を使って不足分を補給し、取水の安定化が図れます。

ダム補給図



水エネルギーを利用した発電

椿山ダムでは、水の堤高分の位置エネルギーを利用した水力発電を行い、発生した電力を関西電力に売電しています。

原子力や火力を利用した発電とは異なって、水力による発電は地球環境に優しいクリーンエネルギーとして見直されています。

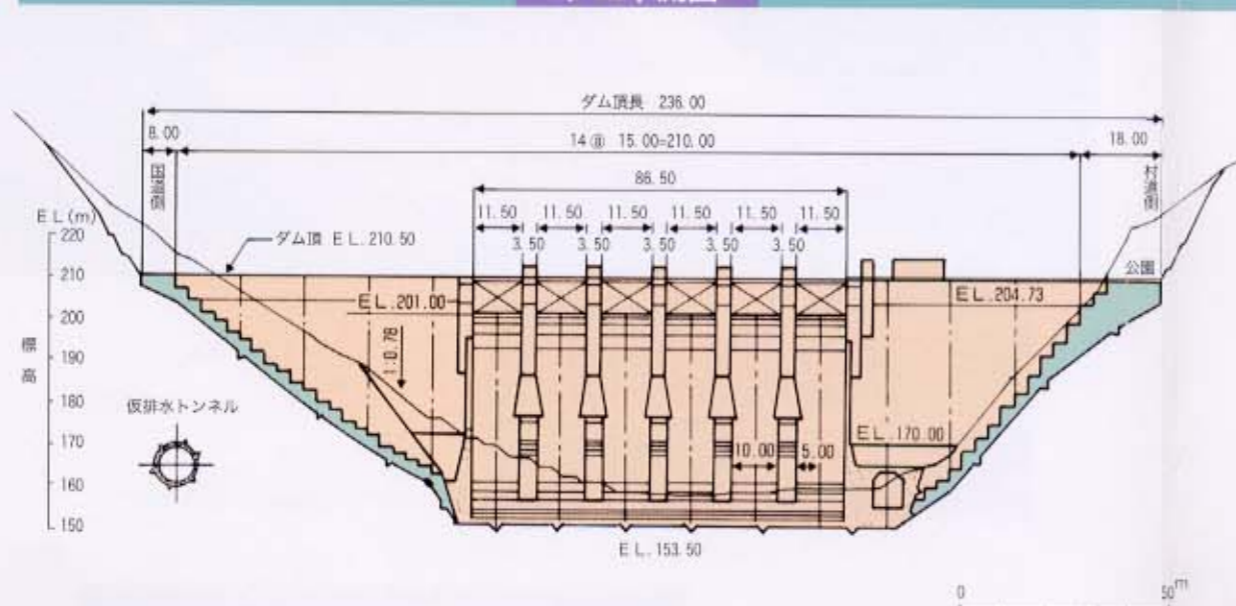


美山発電所

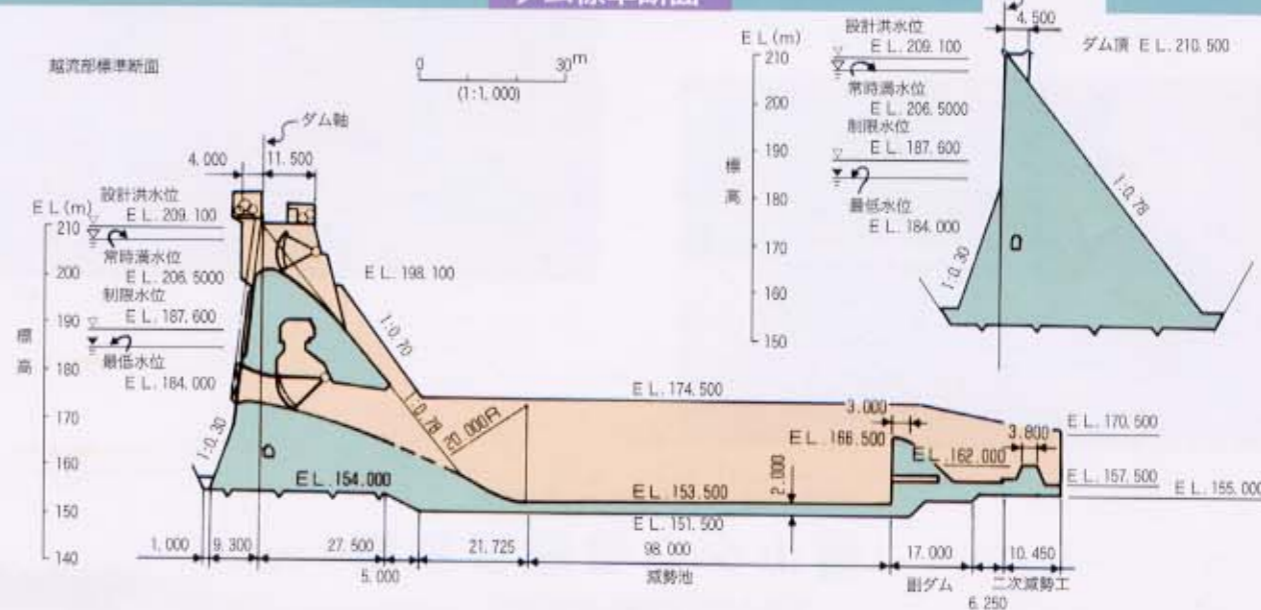


初湯川大橋

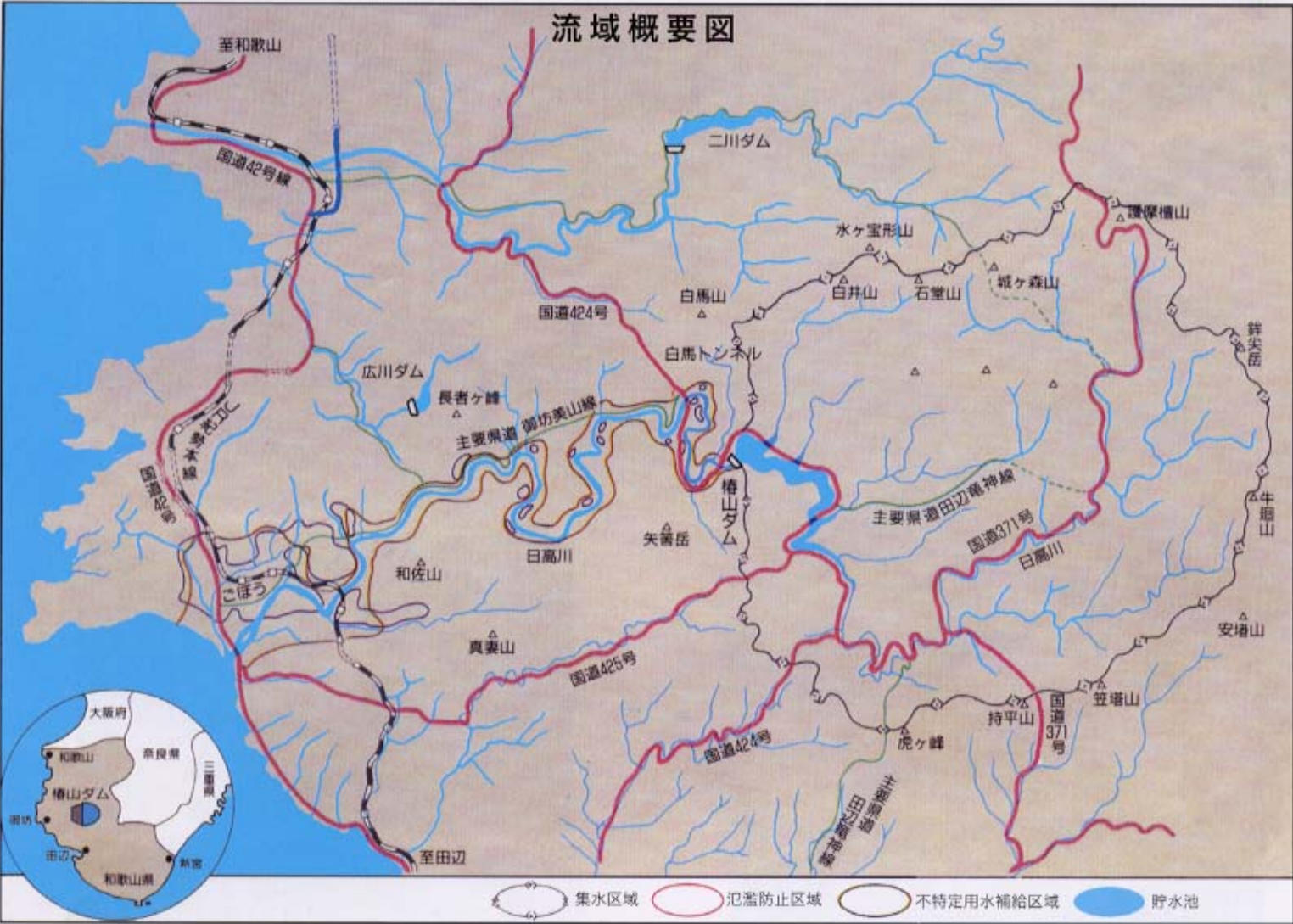
ダム下流面



ダム標準断面



流域概要図



洪水に対する心がまえ

「災害は忘れた頃にやってくる」ということわざとおり、洪水は突然やってきます。河川は自然にできたものであり、安全度の向上のため河川改修が進められ、また、ダム建設もされていますが、どのような洪水に対しても安全であるとはいえません。洪水時には、テレビやラジオのニュースをよく聞いて気象等の情報をよく知っておくことが大切です。



樺山ダム管理事務所



操作室

和歌山県日高振興局建設部 樺山ダム管理事務所

和歌山県日高郡美山村初湯川
TEL 0738-57-0400/FAX 0738-57-0454

このパンフレットは再生紙を使用しています。